

第 72 期 環境経営レポート

(対象期間 2020 年10月1日～2021 年9月30日)



作成日：2021年11月9日
更新日：2022年7月12日

目 次

環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	7
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社金澤電気工業所は、社員一丸となって電気設備関連工事の設計・施工における事業活動を通じ地域社会の環境保全に寄与し、次世代により美しい自然環境を引継ぐべく地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、誠意・熱意・創意そして「和」を持って、顧客様に「安心と信頼」を提供し全ての顧客様に選ばれる力ある会社を作るとともに環境経営の継続的改善を推進致します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 事業活動における環境関連の法規・条例及び環境に配慮した工事基準を遵守します。
- 2 . 創意工夫による業務の効率化に加へ省エネと車両のエコドライブを実践し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄物の排出抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 環境に配慮した製品の情報を常に収集し、積極的に啓蒙及び提供します。
- 6 . 社業発展のため、人材育成を含めた生産性向上に努めます。
- 7 . 働き方改革の推進により、働きやすい職場環境の創生に努めます。
- 8 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2007年1月5日
改定日：2020年9月1日 (第3版)

取締役社長 金澤 英治

□組織の概要

更新日：2020年10月1日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 金澤電気工業所
取締役社長 金澤 英治
- (2) 所在地
本 社 岩手県一関市桜木町6-12
盛岡支店 岩手県盛岡市西仙北1丁目19-46
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 第一工事部 課長 三澤 栄基
エコスタッフ(本社) 千葉 勝
エコスタッフ(支店) 細川 直美
連絡先(本社) TEL:0191-23-5200 FAX:0191-23-5201
e-mail: masa.misawa@kana-ec.co.jp
連絡先(支店) TEL:019-636-1757 FAX:019-656-5166



本社(一関)

盛岡支店

- (4) 事業内容
建設業、電気設備及び防災設備(電気)に関する設計・施工

- (5) 事業の規模

売上高	14.7 億				
	本 社	盛岡支店			合計
従業員	名 21 名	14 名	名	名	35 名
延べ床面積	m ² 316 m ²	159 m ²	m ²	m ²	475 m ²

- (6) 事業年度 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名: 株式会社 金澤電気工業所
- 対象事業所: 本 社
盛岡支店
- 対象外: なし
- 活動: 建設業、電気設備及び防災設備(電気)に関する設計・施工

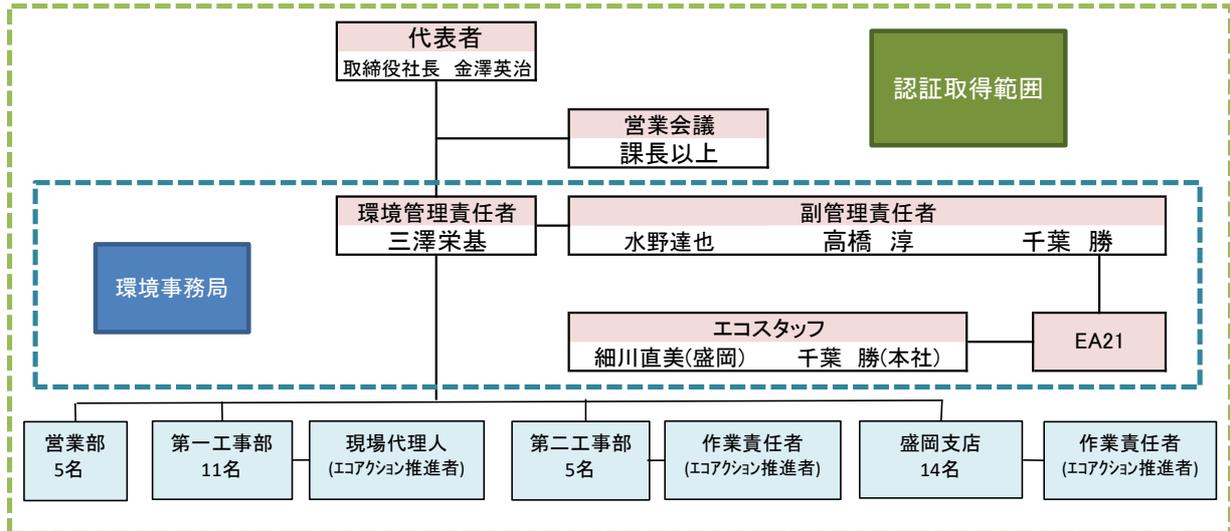
□事業や製品(商品)の紹介



某工場 新築工事

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年7月11日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示、実施体制の構築 経営の課題とチャンスの整理と明確化 環境経営レポートの承認
営業会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価・指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
エコスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 環境に関する内部監査の実施・報告
現場代理人 (エコアクション推進者)	<ul style="list-style-type: none"> 新規入場者教育 作業員(協力業者)エコアクション活動協力依頼
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	70期	71期	72期
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	99,959	108,728	111,264
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	3,183	3,203	2,642
産業廃棄物排出量	トン	108,871	65,517	41,214
総排水量	m ³	236	292	289

※二酸化炭素排出係数 0.548 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数(東北電力2018年)

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

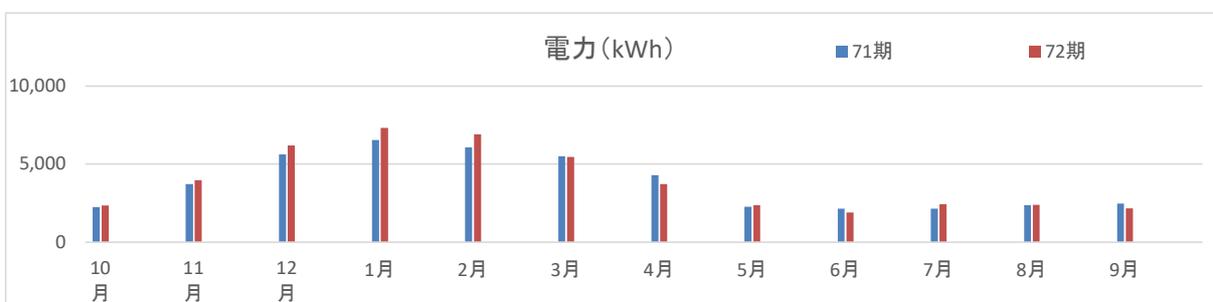
項目	年度	基準値	72期		評価	73期	74期
		71期	上段:	通期		(目標)	(目標)
		(基準年)	(目標)	3月末まで			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,812	27,294	25,865	○	24,812	24,812
		16,302	17,932	17,653	○		
	基準年度比	71期	110%	104%		100%	100%
自動車燃料による二酸化炭素削減 (軽油+ガソリン)	kg-CO ₂	83,305	108,297	84,946	○	83,305	83,305
		47,226	61,394	45,943	○		
	基準年度比	71期	130%	102%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	108,118	135,590	110,811		108,118	108,118
建設副産物の再資源化率の向上 (廃棄物削減)	%	94%	80%	96%	○	80%	80%
		71期					
水道水の削減	主体が生活用水(30リットル/日・人)で、節水管理強化によりデータ管理とする。						
環境に配慮した工事の推進	件/年	3	3			3	3
課題を解決しチャンスを活かす取組 人材の生産性向上 ・管理項目 資格、教育等	品質活動で対応する *進捗は品質活動記録の資料添付						
課題を解決しチャンスを活かす取組 働きやすい職場環境の創生 ・管理項目 4S活動等	品質活動で対応する *進捗は品質活動記録の資料添付						
地域貢献活動	件/年	2	2			2	2

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

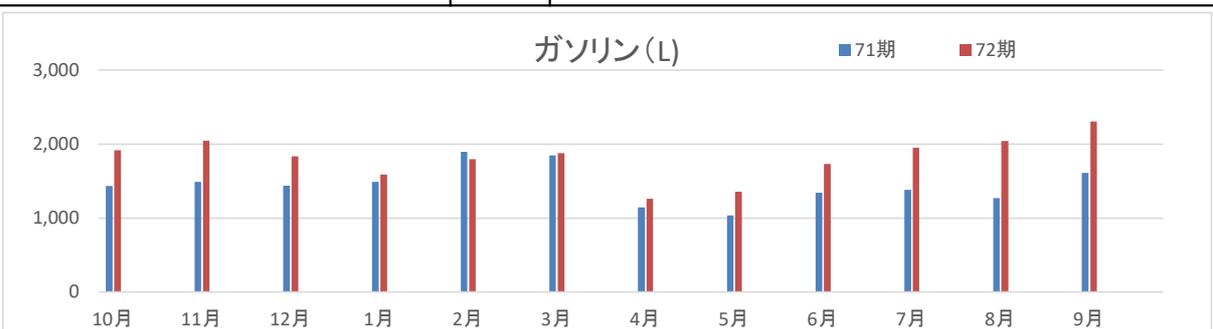
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組は良。目標値達成。今期は冬季、夏希の寒暖の差が大きくなっているように見受けられる中での達成。来期も今年度同様、気候変動が大きいと考えられるが、今年度値100%を目標比で取組む。
・事務所、作業所等の照明は、昼休み等不必要な時は消灯している	○	
・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている	○	
・使用していない部屋の空調は停止している	○	
・倉庫、作業休憩所、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している	○	

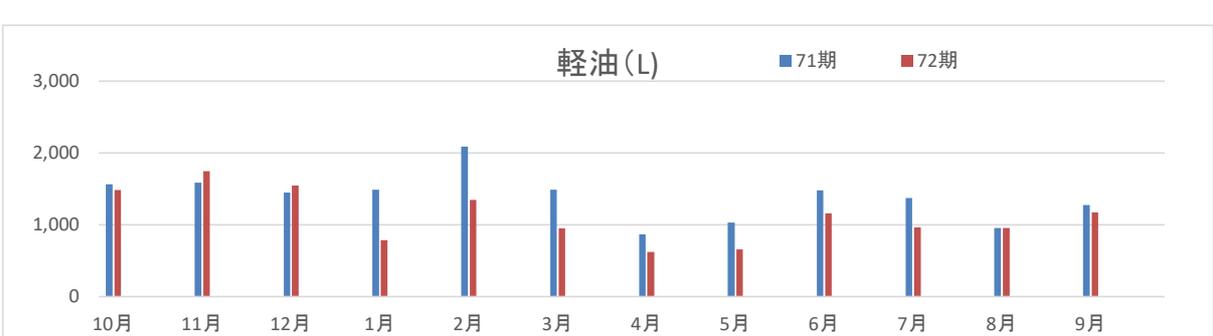


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	2,249	3,722	5,631	6,550	6,087	5,509	4,291	2,277	2,155	2,155	2,382	2,475
72期	2,353	3,960	6,186	7,320	6,926	5,468	3,716	2,366	1,893	2,435	2,394	2,181

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組は良。軽油使用料が減ったものの、ガソリン使用料が増加した為、基準年度数値を超過したが目標達成となる。工事車両の更新により工事車両の大型化やガソリン車からディーゼル車の変更に加へ工事車両の増加、遠地での工事が引き続き行われるが、来期は今年度値100%を目標比で取組む。
・エコドライブ等運転方法の配慮を励行している	○	
・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	○	
・社用車について、ハイブリット車や低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	○	

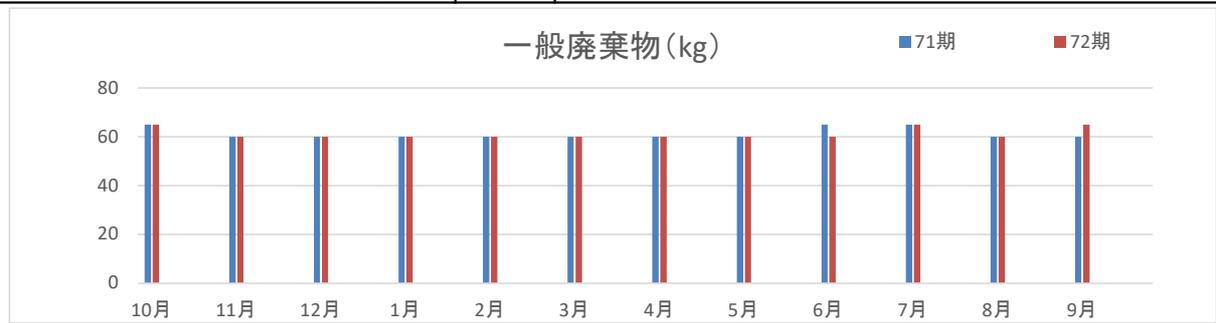


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	1,430	1,491	1,440	1,491	1,898	1,845	1,145	1,036	1,342	1,384	1,271	1,613
72期	1,916	2,049	1,836	1,590	1,793	1,880	1,261	1,355	1,732	1,953	2,044	2,305



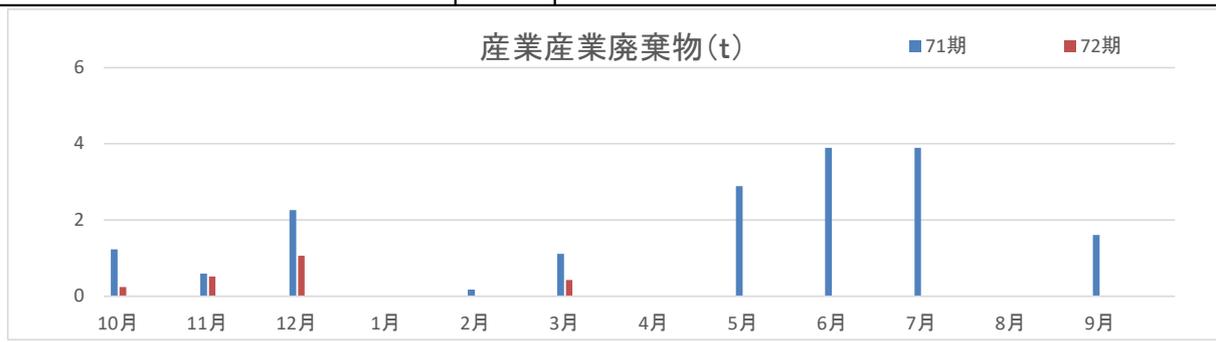
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	1,567	1,589	1,449	1,491	2,089	1,491	867	1,032	1,479	1,373	953	1,274
72期	1,482	1,747	1,546	787	1,346	950	621	661	1,164	966	956	1,173

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組は良。目標値達成とはならなかったが、問題なし。来期も両面コピーや分別の徹底、誤印刷の抑制などにより一般廃棄物の削減を実施し、今年度比100%を目標値として取組む。
・分別の徹底で廃棄物の削減を図る。	○	
・使い捨て製品の使用や購入を抑制している。	○	
・シュレッターの使用頻度を下げる。	○	
・エコボックスの使用頻度を高める。	○	



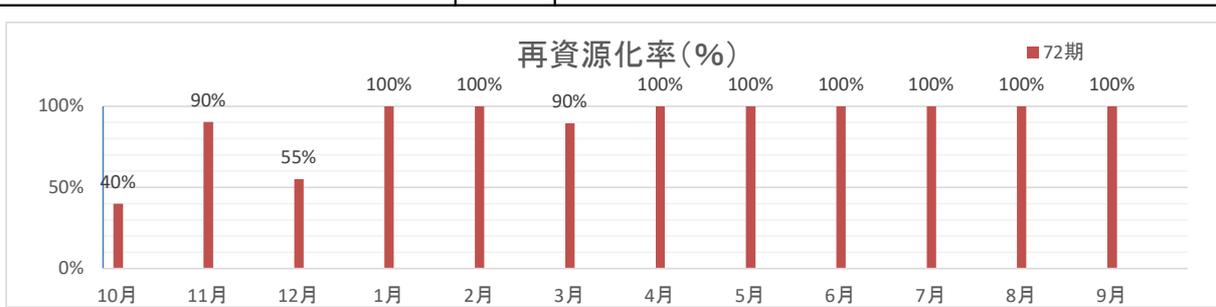
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	65	60	60	60	60	60	60	60	65	65	60	60
72期	65	60	60	60	60	60	60	60	60	65	60	65

廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組は良。大幅な削減となる。引続き、リユース・リサイクル出来る業者の開拓を進めると共に、残余資材の抑制強化により廃棄物の削減に努める。来期は今年度比100%を目標値として取組む。
・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している。	○	
・建設資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制している。	○	



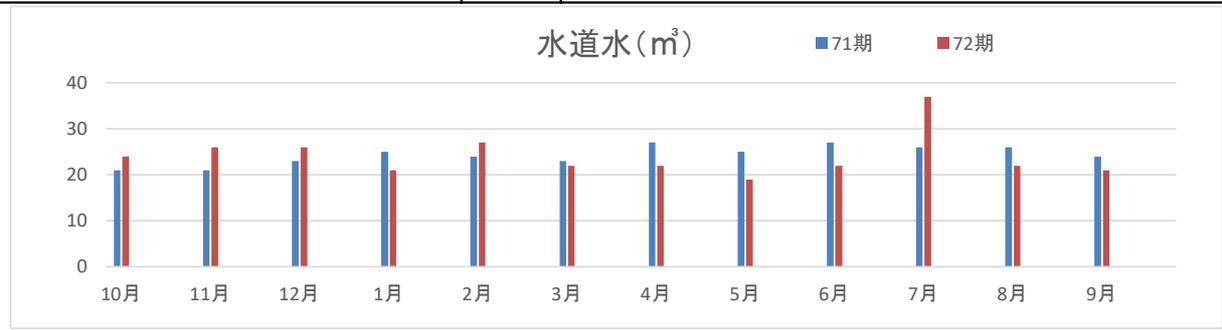
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	1	1	2	0	0	1	0	3	4	4	0	2
72期	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	取組は良。しかし目標達成とはならない。引続き、リユース・リサイクル出来る業者の開拓を進めるとともに分別の徹底で再資源化率を高める。来期も今年度比100%を目標値として取組む。
・分別コンテナ（ボックス）の設置	○	
・工事現場での分別の徹底	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
72期	40%	90%	55%	100%	100%	90%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

水道水の削減 数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・生活用以外では使用しない事。	○	取組は良。しかし、目標達成とならなかった。基準年度値同等となる。引続き、主体が生活用水の為、データ管理とし、評価は無しとする。来期は今年度比100%を目標値として取組む。
	○	



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
71期	21	21	23	25	24	23	27	25	27	26	26	24
72期	24	26	26	21	27	22	22	19	22	37	22	21

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	取組は良。引続き、来期も工事の効率化を図り、作業ミスの防止により、手直し、手戻り作業を無くし、環境に配慮した工事の推進に努める。
・作業ミスの防止	○	
・騒音・振動の防止	○	
・廃棄物の適正処理の推進	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物管理、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
家電リサイクル法	再商品化に必要な料金の支払い
労働安全衛生法	労働災害の防止（全職場）
電気工事業の業務の適正化に関する法律	工事資格者以外の作業従事禁止（全工事）
電波法	他の免許人が通信を行っていないことを確認する
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する	自動車等駐車時の原動機停止義務
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 油流出事故の発生	
■実施日: 10月5日(本社)、10月1日(盛岡支店)	■実施場所 本社 駐車場
■参加者: 本社 13名、 盛岡支店 13名	■実施内容: 水消火器による消火訓練及び 漏油対策について
■評価: 消火訓練の成果もあり、火災の早期通報や 連携した消火活動で被害を最小限に食い止めた	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
として、一関消防本部より4月27日に表彰。	
■実施状況の様子	
	
	
<p>本社 訓練状況① 本社 訓練状況② 支店 訓練状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水消火器を使用して消火器の仕組みや使用方法を踏まえての消火訓練の実施。 ・油流出事故に対する対応(油吸着マット、油処理剤の知識及び使用方法について) ・『全国労働衛生週間』で実施。インターンシップ生を含めての実施となる。 	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2021年11月9日

【前回の指示への取組結果】	
良好である。問題なし。	
<情 報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ・遠地作業による長期出張が引続き行われる。 ・コロナ禍による工事の落ち込みから、事務所内作業が増加し便所使用による水道使用量の増加及び電気使用量の増加が予想できる。 ・官公庁工事及び大型物件の減少により、民間工事及び少額工事の割合が大きくなる。そのため、自動車燃料の削減が難しく、増加が予想出来る。 ・収集運搬業者により分別の仕方が異なるので契約の都度、確認が必要。 ・分別の仕方が変更になっている場合が多々有る。 ・電子マニフェスト移行を行い、データーの透明性を図る。	➡
◇環境経営目標・計画の達成状況 ・達成状況は良好であるが、温暖化により、事務所エアコンの使用頻度が高まることや、工事車両での休憩が考えられることから、電気使用量及び工事車両燃料の増加による二酸化炭素増加が考えられる。その中でい	◇環境方針 ・現状維持の事。 ・分別の仕方等変更に対応する事
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等	◇環境経営目標・環境経営計画 ・根本的には変更なしとするが、エアコンの適正使用を行う事とする。
	◇実施体制他 ・特になし。